

## バードウォッチングウィーク！ (\*11月1日～7日)

### 季節の鳥を eBird に投稿しよう

(公財)日本野鳥の会(事務局:東京、会長:上田恵介、会員・サポーター数:約5万人)は、バードウォッチングウィーク<11月1日(金)～7日(木)>に、より多くの方が野鳥観察を楽しみながら、世界規模の市民科学プロジェクト「eBird」に観察情報を寄せていただけるよう、「バードウォッチングウィーク！季節の鳥を eBird に投稿しよう」キャンペーンを実施します。観察対象種の鳥を見た方、期間中毎日投稿した方には、記念品をプレゼントいたします(該当者多数の場合は抽選)。



Macaulay Library/©Atsushi Shimazaki

#### ■eBirdについて

eBird(イーバード)は、米国・コーネル大学鳥類学研究室(Cornell Lab of Ornithology)が運営する世界最大の野鳥観察データベースであり、市民科学(市民と科学者が協働する科学研究)プロジェクトです。eBirdには世界中のバードウォッチャーから10億件を超える野鳥観察情報が寄せられ、蓄積されたデータは鳥類の調査研究や保全活動に活用されています。(公財)日本野鳥の会はコーネル大学鳥類学研究室と協働で、その日本語サイトを運営しています。

eBirdでは、自分のバードウォッチングの記録をスマートフォンやPCから投稿して、アーカイブできます。また、さまざまな検索機能で、世界の野鳥の写真や音声を検索したり、どこに行けば見たい鳥が見られるか、人気のバードウォッチングスポットはどこか等を調べることができます。eBirdを利用すれば、スマートフォンひとつが、フィールドノートに、図鑑に、探鳥地ガイドにもなります。

#### ■11月1日～7日はバードウォッチングウィーク。eBirdで野鳥観察を楽しもう！

11月1日～7日はバードウォッチングウィークです。秋から冬にかけては木々の葉が落ち、鳥の姿を見つけやすくなります。ガン・カモ類など比較的大型の水鳥も渡ってくるので、バードウォッチングを始めるのにはよい機会です。家の周りや公園、身近な緑地や水辺で見られる野鳥を観察して、eBirdに投稿してみましょう。観察対象種の季節の鳥3種(ジョウビタキ、モズ、マガモ)をすべて見た方、7日間毎日投稿した方には、素敵なプレゼントも！

「eBirdを使ってみたいけれど、見た鳥の名前がわからない」という方には、eBirdと連動してAIが鳥の識別をサポートするアプリ「Merlin」がおすすめです。キャンペーンに合わせて、アプリ「Merlin」の使い方を紹介するオンラインセミナーも開催します。

#### 【「バードウォッチングウィーク！季節の鳥を eBird に投稿しよう」キャンペーンの概要】

●期間：2024年11月1日（金）～7日（木）（バードウォッチングウィーク）

●参加方法：期間中、いつでも好きな時間にバードウォッチングをして、見た鳥をアプリ「eBird モバイル」またはeBirdのウェブサイト（<https://ebird.org/home>）から投稿してください。

※初めて使う方は「これを読めばわかる！eBird&Merlinの使い方」をご覧ください。

「これを読めばわかる！eBird&Merlinの使い方」：

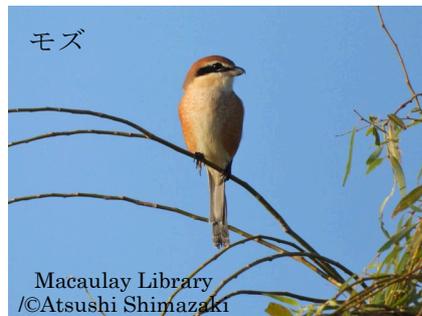
[https://www.wbsj.org/nature/ebird/eBird\\_setting\\_guide.pdf](https://www.wbsj.org/nature/ebird/eBird_setting_guide.pdf)

●参加賞：

①サントリー特別賞：期間中にチェックリストを投稿された方のうち、観察対象種（季節の鳥3種：ジョウビタキ、モズ、マガモ）をすべて見た方10名さま（該当者多数の場合は抽選）に、サントリーホールディングス株式会社提供の「ステンレス製真空タンブラー『フクロウ』（藪内正幸イラスト）」をさしあげます。



### ＜観察対象種－季節の鳥3種－＞



②日本野鳥の会賞：11月1日～7日の7日間毎日チェックリストを投稿した方10名さま（該当者多数の場合は抽選）に、日本野鳥の会オリジナルグッズ「卓上カレンダー2025」と「今治タオルハンカチ・ルリビタキ」のセットをさしあげます。



### 【講座のご案内】

#### オンライン講座「AIと野鳥識別対決-Merlinに挑戦！ 2024 秋冬編」

●日時：2024年10月23日（水） 19:00～20:00

●内容：「Merlin」は、世界最大の野鳥観察データベース「eBird」と連動して、野鳥の識別をサポートするアプリです。このウェビナーでは、Merlin (AI) とバードウォッチャー（日本野鳥の会：奴賀俊光）の識別クイズ対決を通じて、野鳥を識別するポイントと、アプリ「Merlin 野鳥識別」をうまく活用するコツをご紹介します。識別クイズには、視聴者の皆さまもご参加いただけます。

●方法：Zoom ウェビナー（定員 300 名、先着順）

●参加費：無料

●詳細・お申込みはこちら <https://www.wbsj.org/activity/event/seminar-merlin-20241023/>

## 【ジャパン・バードフェスティバルで、eBird の使い方を紹介します！】

11月2日（土）～3日（日・祝）に我孫子市で開催されるジャパン・バードフェスティバルにブース出展し、eBirdの使い方をご紹介します。「eBirdを使ってみたいけれど、設定方法や使い方がわからない」という方は、ぜひブースにお越しください。スタッフが設定をお手伝いします。会場でバードウォッチングし、見た鳥をeBirdに投稿した方には、記念品をプレゼント！

●ジャパン・バードフェスティバルの詳細はこちら

<https://www.birdfesta.net>



## ■eBird とは

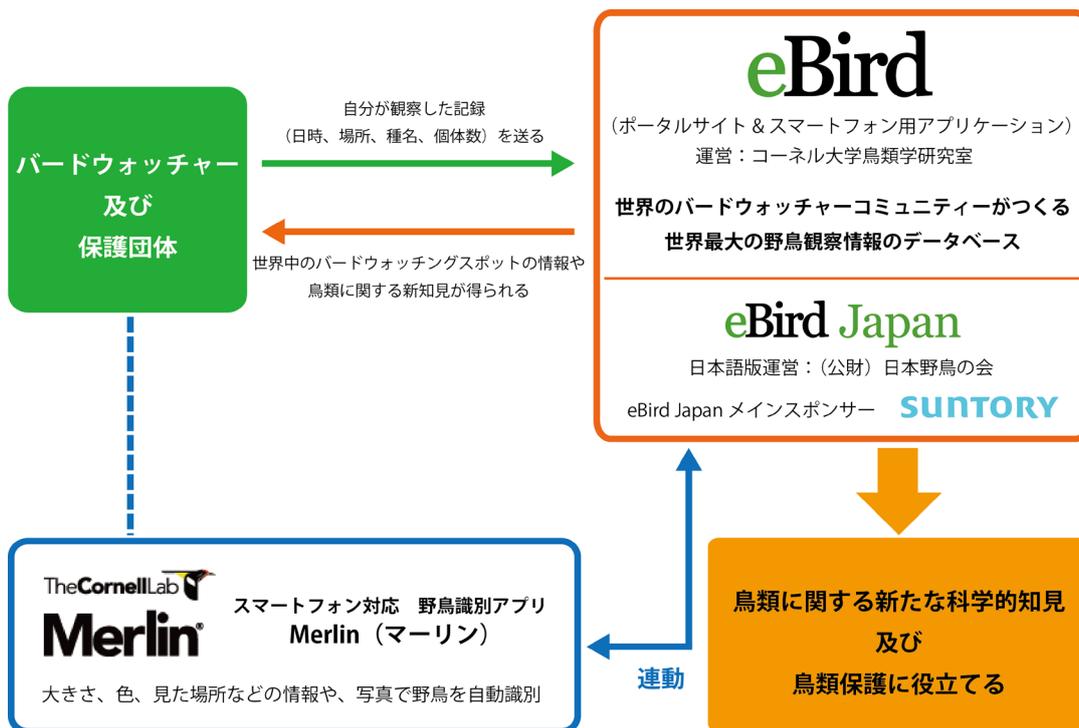
### ●世界規模の市民科学プロジェクト

eBirdは、米国・コーネル大学鳥類学研究室が運営する、世界的な科学研究プロジェクトであり、誰でも参加できる市民科学プロジェクトです。世界中のバードウォッチャーの野鳥観察記録をオンラインで共有し、鳥類の研究や保護に役立てることを目的に、2002年に開発されました。2024年10月1日現在、eBirdの利用者は世界で100万人、国内で8000人を超え、日々増え続けています。

### ●2021年11月より、日本語で利用可能に

eBirdは、コーネル大学鳥類学研究室と、世界中のパートナー団体、何千人もの地域の専門家、何十万ものユーザーの協働で運営されています。2021年11月にコーネル大学鳥類学研究室と（公財）日本野鳥の会によりeBirdの日本語版が公開され、eBirdへの投稿や検索、関連するアプリが日本語で利用できるようになりました。eBirdの日本語版は、現在、サントリーホールディングス株式会社（メインスポンサー）と、カールツァイス株式会社（協賛）のご支援を得て、（公財）日本野鳥の会が運営しています。

eBirdは多言語に対応しており、世界中で利用できます。また、eBirdに蓄積されたデータは、調査研究や教育活動、自然保護活動など非営利目的であれば、誰でも自由に利用できます。



■日本野鳥の会 組織概要

組織名：公益財団法人 日本野鳥の会（会員・サポーター 約5万人）

代表者：理事長 遠藤孝一

所在地：〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

URL：https://www.wbsj.org/

■本件に関するお問い合わせ先

（公財）日本野鳥の会

〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

担当：自然保護室 葉山政治／岡本裕子

電話：03-5436-2633 E-mail：[ebirdjapan@wbsj.org](mailto:ebirdjapan@wbsj.org)